

名前【 】

① コンテナ船の座礁でどんな影響がありましたか。

② この事故はいつ起こり何日ぶりに航行再開しましたか。

③ スエズ運河岸のラビア氏によると、運河岸側の損害は1日どれくらいに上りましたか。

④ スエズ運河はどここの国にあって、何海と何海を結んでいるか調べましょう。

⑤ スエズ運河の歴史について調べてみよう。

スエズ運河航行再開

コンテナ船離礁 正常化に3、4日必要

【イスマイリア共同】エジプトのスエズ運河で座礁し、脱出作業が続いていた大型コンテナ船「エバーグリーン」（愛媛県今治市の正栄汽船所有）が離礁に成功し、29日夕（日本時間30日未明）に運河の航行が再開した。

ア長官が北東部イスマイリアで記者会見し、明らかにした。（9面に関連記事）

世界で最も重要な運河の一つがふさがり、国際海運に大きな影響を与えた事故は、23日の発生から6日ぶりに事態収拾に向かった。ラビア氏によると、運河や周辺で足止めされている船舶は29日までに422隻で、航行の正常化に3〜4日間が必要という。

運航再開後、30日までに113隻の船舶が運河を通

過した。ラビア氏は運河岸側の損害が1日1200万〜1500万ドル（約13億〜16億円）に上ったとし、座礁原因を究明すると述べた。関係者に賠償を求める可能性がある。ラビア氏は悪天候の他に技術的問題や人的ミスがあったと疑っており、当局は原因調査を開始した。シシ大統領は「エジプト人が危機を終わらせた」との声明をツイッターで出し、国際社会に対し運河輸送の安全を保証した。

コンテナ船は22万トンを超え、全長約400メートル。運河の岸に船首が接して土砂に埋まった。スエズ運河岸がオランダ企業の支援を受け、タグボートでのけん引などを実施。約3万立方メートルの土砂を除去した。

28日夜の満潮時にタグボートを増強して作業を急ぎ、29日未明に船尾を約100メートル動かした。船首も浮上し、29日午後に離礁作業を終えた。船体や運河に大きな損傷はないとみられる。船は原因調査のため、運河内にあるイスマイリア近くの湖にとどまった。



29日、エジプトのスエズ運河でタグボートにけん引されるコンテナ船「エバーグリーン」(スエズ運河岸提供、AP)共同

NIEワークシート
／小学校 中学年～高校
／社会、総合